

茨城・土浦一高“探究学習”最終プレゼンに参加 「医療に積極的に参加できる社会」に向けたアイデアで意見交換

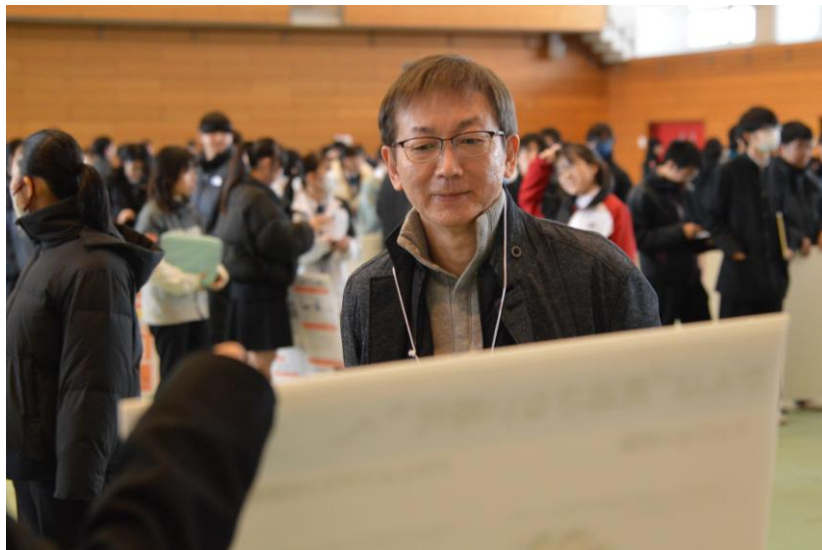
医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之、以下「MDV」）は2026年1月30日、茨城県立土浦第一高校（以下、「土浦一高」）の探究学習の最終発表となるポスタープレゼンテーションに参加し、MDVの理念である「医療に積極的に参加できる社会」の実現など、医療に関する諸課題の解決に向けて意見交換をしました。

■生徒42人が12チームに分かれて独自のアイデアを披露

同日の探究学習の最終発表ではMDVが昨年7月に土浦一高で実施した企業講演を受け、1年生で医療を研究課題に選んだ42人の生徒が12チームに分かれてポスタープレゼンテーションをしました。

■筑波記念病院つくばトータルヘルスプラザの池澤医師が12チームそれぞれに具体的な指摘

同日のポスタープレゼンテーションにはMDVの企業講演の中で登壇してくださった筑波記念病院つくばトータルヘルスプラザマネージングディレクターの池澤和人医師にも参加していただきました。



医療に関して12チームに分かれた生徒たちは、さまざまな切り口から「医療に積極的に参加できる社会」の実現に向けたアイデアを披露してくれました。

生徒のテーマは、「地域住民ががん検診を受けやすくする仕組み」、「新しい高齢者の見守りシステム」「かかりつけ医制度の改善提案」一などでした。

■医療など合計6テーマでプレゼン

最終発表は、MDVが担当した課題の一つである「医療」のほかソフトウェア、マスコミ、化粧品・薬品、電子機器、教育の合計6つのテーマについて、生徒がプレゼンをしました。

探究学習とは生徒が主体的に問いを立て、それを解決するために調査・分析・思考を繰り返す学習のことで、文部科学省が2022年度からの学習指導要領に盛り込んでいます。



<本件に関するお問い合わせ・取材のお申し込み>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報室

担当：君塚、赤羽、汲田

TEL：03-5283-6911（代表） MAIL：pr@mdv.co.jp